

# 研修のまとめ

## ～人間の個性～

ポートランドの人は皆、個性を大切にしているんだなぁと思いました。まず、クリスマスやお正月にかけての家のデコレーションです。ほとんどの家がライトで飾られていました。シンプルにドアだけ飾っていたり、家全体を眩しくなるくらいクリスマスツリーのようにしている所もあり、いろいろな色のライトが光り輝いていました。電気代がもったいないのにと、思ったりもしました。

日本ではあまり見られないのでじろじろ見てしまいました。

町など行ってみても、アメリカの人は流行などとらわれていなくて、変わった組み合わせの服でもしっかり着こなしていて、なんだかうらやましかったです。おばあちゃんおじいちゃんも派手な格好をしています。一番印象に残っているのは、上下真っ赤できめていたおばあちゃんです。うわぁかわいいなぁと思って見ていたら気付かれて、おばあちゃんはほほ笑んでくれました。そういう人がたくさん見られます。個性を大切にすることがとても良いことだと思いました。



## ～挨拶～

私がホームステイしている中で“挨拶”にはびっくりしました。まず“ただいま”“いってきます”がないのです。“いってきます”がないから“いってらっしゃい”もありません。“ただいま”もなければ“おかえりなさい”もありません。

どうしてだかホストファミリーに聞いても「じゃあ、どうして日本人はそういうことを言うんだい？」と、聞かれ、悩んでしまいました。そして、“いただきます”と“ごちそうさま”もありません。何にも言わないで食べ始めるので初めのうちはなんだか非常識だなぁと思っていました。

これらは日本とアメリカの大きな違いです。聞いてみるとその言葉に値する英語がないと言うのです。

そういえばGood Morning もあんまり言いませんでした。ほとんど“Hi!”で終わります。“Hi!”一つでその場その場での状況に応じた挨拶になります。昼に言えば“こんにちは”夜に言えば“こんばんわ”の役割をもっています。

“挨拶”と言えは忘れられないのが、すれちがう人達です。町に行ったりして知らない人と目が合った合ったとしても誰でも“ニコッ”とほほ笑んでくれたり“Hi!”

と言ってくれたり。知らない人でもなんだか身近に感じられます。買い物をしていても店員さんとお客さんとの会話がはずんでいます。私も「どこからきたの?」とか「どうしてアメリカに来ているの?」とかいろんなところで聞かれました。

ポートランドからシアトルの汽車の中でも前の席の人達がみんな他人なのに、あっという間に話が弾んでいるのには驚きました。一人のおばさんが編み物をしていて、そのことがきっかけで話していました。「シアトルには何回目。」とか、「～～しに行く」とか、けっこうつつこんだ話しをしていました。

アメリカの人達はとっても親しみやすく、あたたかいと思いました。

## ～リンカーン高校～

リンカーン高校にはさまざまな国から留学して来る人がたくさんいます。韓国人、インド人、イラン人、フランス人、メキシコ人・・・そして日本から来ている人もいました。初めの二日間、制服を着て行ったので日本から留学している人や日本語が上手な人に、よく声をかけられました。そして友達になれて、一緒に授業をまわったり昼食を食べたりして、いろんなことでお世話になりました。

学校は8時15分に始まり、1時間目は8時20分に始まります。それまで生徒たちは廊下にある自分のロッカーの前に座っていて勉強したり、友達とおしゃべりなどしています。

雪の日は学校が2時間遅れて始まるか、学校は休みになります。それは朝、テレビで報告されます。私達が通っている間、2回だけ2時間遅れとなりました。

私達の高校と大きな違いは1時間ごとに先生が教室に行くのではなく、生徒が行くのです。そして一人一人の時間割は、違ってきます。そして毎日同じ時間割です。また、クラスの中は1年生から4年生までさまざまです。

授業は50分で、授業と授業の間は4分間でその間に教室から教室へ、重たいカバンをもって移動するので廊下は移動する人いっぱいです。2時間目が終わったら10

分間の休み時間があって、その時に朝食を食べて来てない人が朝食を食べていたりしています。

学校は7時間目まであり、昼食は5時間目にあたり、38分間あります。みんなカフェテリアで食べていたり、廊下に座って友達同士で輪になって食べていたり、学校の外のマクドナルドなどに行って食べる人もいました。カフェテリアにはピザ、ハンバーガー、カップラーメンなど売っています。私は昼食は普通の紙袋にだいたい、りんご丸ごとと、おかしと、サンドウィッチと、ジュースが入っているものを毎日渡されました。

がっこうにはお菓子の自動販売機があって、アメ、ガム、スナック、チョコレート、いつ



[Lunch Time  
カフェテリアにて]

でも買って食べれます。とっってもうらやましかったです。カフェテリアにはりんごやパンの自動販売機もありました。

### 【 授業風景 】

信じられないくらい日本の学校とは違う点がたくさんありました。ガムを食べていたりジュースを飲んでいたり、先生の椅子に足をかけている人がいたり、机に座って授業をうけたり・・・だけど先生は少しも注意しません。しかし、授業はしっかり聞いていて、みんなたくさん発言していて、意見があっちこっちから飛び交っています。なんだか生徒達が授業を進めているように見えました。私の学校のように先生が中心になって授業を進め、黒板に書いたものを写すだけではないのです。ほとんどが話し合いなのです。発言する人がいないから先生があてていくのではなく、生徒が積極的に手を上げて発言をします。とても良いことだと思いました。これなら先生たちも、授業がやりやすいだろうと思いました。しかし、これだけ話し合いがあったら授業がなかなか進まないんじゃないかとも思いました。

これから特に印象に残っている授業を紹介したいと思います。

### 【 Japanese 】

私は、一番このクラスに興味がありました。みんなと一緒にこの授業をうけてみて、日本語を勉強するのはとても難しいことだと思いました。このクラスで友達もできました。兄弟が何人いるかとか話していてみんな日本語が上手でした。漢字の練習もしていました。



### 【 数学 】

私は4回ぐらい数学の授業を受けました。図形の合同をやっていました。もう日本でやったので先生が言っていることが分かりました。みんなわからないことがあったらすぐ質問をしていました。机を四・五人、輪にしてみんなで問題を解いていました。

### 【 P・E (体育) 】

生徒達はみんな着替えてから行きます。手首を捕まえられたり、銃を突きつけられた時の交わり方をやっていました。私も参加してやってみただけど、これで自分の身を守ることができるんだろうか少し疑った。他の人も疑っていた。

### 【 INTERNATIONAL 】

このクラスは、生徒がみんなリンカーン高校に来ている留学生です。スペイン人や、アラブ人や、ブラジル人などたくさんいました。授業の内容は子供を産みすぎて養えない人のことについて、話し合っていました。一人の生徒が前に出て、その人が授業を進めていました。むきになって発言している人がいてビックリしました。

ちょうどその日で留学期間が終わる人がいてみんなTシャツにメッセージを書いていました。その人が涙ぐんでいて、わたしはとても気持ちが分かりました。

### 【 Drama 】

このクラスは劇の練習をしています。一生懸命、演技をしている人もいれば、ずーとおしゃべりをしている人もいます。先生は何にも言わないで、生徒達だけで考えて役割などを決めて舞台の上で演技をしていました。私達は客席に座って見ていました。

### 【 Health 】

“保健”のようなもので、先生がずーっと本を見ながらしゃべりっぱなしで、生徒はずーっと聞いていました。みんなつまんなそうで寝ている人もいました。教室を出たり入ったりしている人もいました。

私は2回、放課後にあるバスケットボールの試合を見ることができました。両方ともリンカーン高校でやっていました。体育館に入るにはお金を払わなければいけなくて、そして手にはんこをおされます。試合はとっても白熱しました。

お客さんがすごく多くて、みんなまとまって声を合わせて応援していました。校長先生も応援に来ていました。初めて近くでダンクシュートを見たので相手のチームだったけど、すごく嬉しかったです。Ayaはチアガールなので一生懸命、応援していました。結果は全部負けてしまったけれど。

3週間は私にとってあっと言う間に過ぎ去りました。帰る日が近づくにつれて、まだポートランドに残っていたいという気持ちがふくらんでいきました。

いよいよ別れの日がやってきました。どんどん頭の中で3週間の出来事が思い出されてきます。みんなでポーリングへ行ったことや、スケートをしたこと・・・たくさんありすぎて書ききれません。

空港でみんなと、お別れの挨拶をしました。BobとJudyと抱き合っていていろいろちゃんと考えておいたお礼の言葉を言いたかったんだけど、胸がジーンとしてしまって、何にも言うことができませんでした。それからAyaと抱き合って、Ayaはいろいろ言ってくれたんだけど、私は本当に胸がいっぱいになってしまって、何か言ったら泣き出しそうになるのでうなづくことしかできませんでした。そして　　くんのホストのHalstonと抱き合って我慢できなくなって泣き出してしまいました。みんなと抱き合ってたくさんもっと話したかったけど、ただ『Thank you very much』しか言えませんでした。

しかし、この3週間で言語の違いという壁を乗り越え、何かとても素晴らしいものを得ることができました。

このような素晴らしい機会を与えてくれた北陵高校の先生方、そして家族のみんな、そして　　先生と、リンカーン高校の伊東先生へ。

本当にどうもありがとうございました。